

会 議 録

会議の名称	第3回戸田市都市マスタープラン推進委員会
開催日時	令和7年3月27日(木) 10:00～11:00
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室A
出席者氏名 (委員)	山碕康之(委員長・都市整備部次長)、熊木智洋(副委員長・まちづくり 区画整理室長)、雨宮博子(危機管理防災課長)、清水明(企画財政部次 長兼資産マネジメント推進室長)、細井高行(環境経済部次長兼環境課 長)、野崎実治(経済戦略室長)、梶山浩(教育委員会事務局参事)、東 口俊博(水安全部次長兼総務課長)
欠席者氏名 (委員)	—
事務局	【戸田市 都市整備部 都市計画課】 今泉課長、宇田主幹、堀江主任、早間主事補 【セントラルコンサルタント株式会社】 小坂、鷺尾、宝満
内 容	(1) 全体構想(案)について(前回からの修正内容) (2) 地域別構想(案)について (3) 実現化の方策(案)について (4) 戸田市立地適正化計画の改定について
会議結果	別紙(会議の経過)のとおり
会議の経過	別紙(会議の経過)のとおり

会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料 1 全体構想（案）の修正内容について ・ 資料 2-1 地域別懇談会の実施報告について ・ 資料 2-2 地域別懇談会 意見交換まとめ ・ 資料 3 第 3 次戸田市都市マスタープラン（案） （地域別構想・実現化の方策） ・ 資料 4 戸田市立地適正化計画について ・ 参考資料 1 第 3 次戸田市都市マスタープラン（案）（全体構想） ・ 参考資料 2 戸田市都市マスタープラン（全体構想・地域別構想） 事業管理表
議事録確定	委員長 山碕 康之

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<u>1 開会</u> (事務局開会挨拶) (資料及び議題の確認) (委員長が体調不良のため、副委員長が代理で議事進行)
副委員長	<u>2 副委員長挨拶</u> (副委員長挨拶)
事務局	<u>3 議題</u> (1) 全体構想(案)について(前回からの修正内容) (資料1、参考資料1に基づき、事務局より説明。会議終了後に全庁照会を実施する旨を説明。)
委員	P.39に「6つの都市づくり目標を展開します。」とあるが、目標①のタイトルは「～都市基盤づくり」になっており、さらに、文中では「基盤都市づくり」と記載されている。「都市づくり」に統一したほうが良いのではないかと。
事務局	ご意見を踏まえて「都市づくり」で統一する。
委員	P.58 図3-7にイラストが入っているが、著作権等、使用に関して問題はないのか。
事務局	念のため著作権を確認し、問題があれば差し替えを行う。
副委員長	全体構想(案)について、前回からの修正箇所が多く、会議時間も限られているため、事務局で全て修正箇所を説明できないと思うが、庁内照会で内容の確認ができるのか。

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	4月初旬に、庁内照会において各所属に内容の確認等をお願いする予定であるため、お気づきの点があればその際にも修正等対応させていただく。
事務局	(2) 地域別構想(案)について (資料2-1、資料2-2に基づき、事務局より説明。)
事務局	(3) 実現化の方策(案)について (資料3、参考資料2に基づき、事務局より説明。)
委員	今回の庁内照会では、どの資料が照会されるのか。
事務局	庁内照会では、都市マスタープランの全体構想(案)と地域別構想(案)の内容を確認いただく。
委員	資料3の地域別構想の下戸田地域(4-12 ページ、③防災)や上戸田地域(4-23 ページ、④防災)での課題について、「洪水時は、多くの地域で3.0m以上の浸水が想定されている」とあり、この内容は荒川決壊時の外水による洪水被害を想定しているが、一方、取組方針の「排水機能の維持管理による洪水被害の軽減」は内水被害の対策になっている。 また、洪水対策としては、笹目地域(4-48 ページ、④防災)や美女木地域(4-59 ページ、④防災)の取組方針にある「避難誘導」が適切である。 内水被害に対する取組方針を想定しているのであれば、課題にも内水被害の項目を追加したほうがよい。 加えて、戸田市の方針として荒川氾濫時は市外への避難を推奨しているが、市外避難に関する記載がなく、高所に避難すればよいのかと誤解を与えてしまうので、記載を工夫してほしい。
事務局	各地域の課題としては、洪水と内水どちらも想定している。内水被害の課

発言者	議題・発言内容・決定事項
	題を追加する。荒川氾濫時は市外への避難を推奨していることを明記する。
委員	笹目川、菖蒲川等、県管理の河川における取組方針に「県と調整して」とあるが、市主体で取組を実施できないものについては、表現を修正・削除など見直したほうがよいのではないか。
事務局	会議後、担当課に再度相談して内容を整理する。
委員	本計画は、戸田市のまちづくりの基礎になるものなので、可能であれば子供や若い世代の将来についての意見も反映したいと考えるが、地域別懇談会に参加した公募市民の中に若い世代は何人いたのか。
事務局	公募市民の参加は、下戸田地域での地域別懇談会の1名であった。 公募期間を延長し、公募市民の追加募集を行ったが、増えずに1名のみ、若い世代の参加はなかった。
委員	都市マスタープランのような計画策定は、戸田の将来を担う若い世代の意見をぜひ取り入れて欲しいと感じた。次回にまちづくりの計画がある時には、積極的に検討していただきたい。
委員	公園・緑地の取組方針で「地域住民との話し合いに基づいて公園のプールなどの施設の更新」とあるが、全ての施設において、話し合いに基づく更新をするというイメージを持たれてしまう懸念がある。庁内照会で内容の修正をしたい。
事務局	地域別懇談会において参加者より「プールを使いたい、管理されないまま放置されていて使えない」等の意見があったが、プールの運営や維持管理は地域の子ども会の方々が自主的に行っているものであり、要望等に応

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	じて市負担で修繕等も行っていることから、老朽化したプール等の施設は、地域住民の意見を取り入れながら検討していくという意味で記載したもの。誤解を招くため、文言を再調整したい。 (4) 戸田市立地適正化計画の改定について (資料4に基づき、事務局より説明)
委員	P.4の第6章タイトルが立地適正化計画編となっているが「編」は入れたままで正しいのか。
事務局	本編では「編」は削除して、「立地適正化計画」とする予定である。
委員	全体構想、地域別構想、立地適正化計画と資料のボリュームがあるため、各資料の内容を端的にまとめた資料があると良いと思う。
事務局	次回の第4回推進委員会で概要版を用意する。
事務局	<u>4 閉会</u> (事務局閉会挨拶) <u>以上</u>